東大阪

発行所
株式会社東大阪新聞社
第7030号
〒577−0802
東大阪市小阪本町 1-1-7
エフエスビル２Ｆ
TEL 06−6720−4601
FAX 06−6720−4603

八尾柏原支社
〒581-0013
八尾市山本町南 6-2-29
TEL 072−926−5134
FAX 072−921−6893

東大阪・八尾
柏原の地域紙
購読ご希望の方はお気軽にお電話下さい

おかげさまで90年
東大阪新聞は令和4年に
創刊90年を迎えました

笑って笑って福もらおう

枚岡神社でお笑い神事斎行

昨年12月23日、河内国一之宮枚岡神社（中東弘宮司）で注連縄掛神事（お笑い神事）が斎行され、宮司・神職・氏子と共に参詣者300人超の笑い声が境内に響きわたった。

左が中東弘宮司

神事を盛り上げる七福神

この注連縄掛神事は神話にちなんだ由緒ある神事であり、古くから神官と氏子総代で行われてきた歴史があり、東大阪市の無形文化財に指定されている。

中東弘宮司（80）が着任した10年前よりお笑い神事として一般の参詣者も参加して斎行されている。参詣者は手指消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンス厳守等感染対策に従った。「笑」と記されたマスクを着用し、「アッハッハー」と言う中東宮司の大きな3回の発声に続き全員で20分間笑い続けた。

中東宮司は「笑いは感謝と喜びを表現、嬉しいイメージトレーニングでもある。無心に笑うことにより、心の扉（岩戸）も開かれる。腹式呼吸で免疫力も高まる」と語り、コロナ禍の終息を願った。

参詣者には福岡からの「七福神」の姿もあり、「笑って笑って福もらおう！」と神事を盛り上げた。

全国紙各社、テレビ取材も数多く、中でもNHKはニュース特集として取り上げ、話題となった。

（渡辺彩智子）

枚岡神社
宮司　中東弘
東大阪市出雲井町7-16
TEL 072-981-4177
近鉄奈良線枚岡駅下車すぐ

若江岩田駅前を清掃

Earth Friendship Festival

社会貢献活動を行っているEarth Friendship Festival（アース・フレンドシップ・フェスティバル）＝芦田衛実行委員長＝は12月26日午前9時に近鉄奈良線若江岩田駅前に集合し、駅周辺を清掃した。

寒風が吹くなか、学生ボランティアを中心に老若男女が参加し、心を込めて掃除していた。

Earth Friendship Festival は各地を回り毎月最終日曜日に清掃活動を行っている。

問い合わせはEarth Friendship Festival（☎06−4790−7755）へ。

近鉄
若江岩田駅
Wakae-Iwata Station
寒風が吹くなか集まったボランティア（左から3人目が芦田衛実行委員長）

風を読む 37

2022年世界の動き

大阪商業大学総合経営学部教授
経済学博士　**中津孝司**

人材への先行投資が肝要

核心に接近するには、伝統的資本主義を明らかにするとともに、資本主義の系譜を振り返ってみる必要がある。言うまでもなく、資本主義という経済体制は英国で産声を上げた。産業革命はエネルギー革命と動力源の刷新、それに技術革新を起爆剤とする社会変革である。農業を中心とする経済構造から工業主導へとシフトさせる過程が産業革命に他ならない。黎明期の資本主義は徹底した自由放任主義であった。経済は飛躍的に発展した反面、資本家と労働者の経済格差も著しかった。

格差社会の是正と労働者保護に力点を置く思想が19世紀半ばに誕生し、資本主義に修正を迫る。ロシア革命は社会主義社会の実現を目指した。ところが、日本、欧州諸国、米国では定着しなかった。とはいえ、その後の資本主義の歩みに大きな影響を及ぼした。

社会セーフティネットの導入・整備を通じた社会格差の是正が自由放任主義を基軸とする資本主義を見直す目的だった。具体的な措置は公的年金、医療保険、生活保護といった社会保障制度、所得税の累進課税などである。欧州では「ゆりかごから墓場まで」と形容される福祉国家が誕生した。だが、重税が課されたことから経済社会は活力を喪失していった。

活力を取り戻すために生まれた経済思想が自由放任主義に端を発する新自由主義である。英国病からの脱却を目指したサッチャー政権、「小さな政府」を標榜したレーガン政権、民営化を主導した中曽根政権は新自由主義に基づく社会を構築しようとした。軍拡競争に大敗したソ連邦は滅亡に追い込まれ、ベルリンの壁も倒壊した。中国やベトナムは市場経済へと舵を切った。

他方、日本では冷戦が終結すると同時に、バブル経済が破裂し、「失われた20年」時代に突入していった。この閉塞感からの打破を試みたのが、俗に言う「アベノミクス」だと位置づけることができる。それは大規模財政出動と異次元金融緩和とから成る。見事奏功し、通貨安を通じた株高を実現した。ところが、不運にも新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）が襲う。

岸田政権はパンデミックで大きく傷ついた日本社会を治癒して欲しいという有権者の叫びを受けて誕生した。「新しい資本主義」の目的はアベノミクスを全否定することではない。それを継承しながらも、経済成長と格差是正とを同時に実現しようとする挑戦である。そのスローガンは「成長も分配も」。言わば政府主導とする市場経済である。自由放任主義ではなく、官民連携による成長を目指す。

では、何が必要か。急がば回れ。何よりも人材への先行投資が肝要。教育・訓練は人材育成に不可欠である。起業家精神を鼓舞するには、民間のファンドにスタートアップ企業を応援する積極姿勢が求められる。政府は徹底的に規制を撤廃しなければならない。規制撤廃に財源は不要。制度変革することで既得権益も打ち破れる。税負担の軽減も大切な取り組みとなる。消費税はアンタッチャブルな聖域であろうから、法人税・個人所得税の重税感を緩和すべきだ。問題は山積しているが、令和4年が命運を左右する岐路となる。

町工場を訪ねて 54

株式会社 繁原製作所

EVに最適な多段変速機開発

常に前向きな繁原秀和社長

コロナ禍でこの2年間ほど、技術関連展示会が中止を余儀なくされてきた。コロナ禍以前2019年の展示会で、株式会社繁原製作所の電気自動車（EV）に最適な多段変速機を見て、なぜか心が騒いだ覚えがある。

同社は客先に応える技術・設備・経験を備えている。大きく分けて3分野。

①高性能歯車加工技術＝ホブ盤・歯車形削盤・歯車研削盤他の歯車加工機械、各種研削盤、NC複合旋盤、5軸加工機、レーザー加工機、放電加工機等の設備ラインナップで部品加工に対応。特に厳しい精度を要求されるレース用部品を大手メーカーに供給している。

②試作・小ロットの受注に特化＝特殊な工程（歯車・3D加工など）を含め、部品完成までの全ての工程を自社設備で対応している。

③電気自動車（EV）に最適な多段変速機を開発＝蓄積した歯車加工技術・切削加工技術を駆使して、電気自動車（EV）に最適な多段変速機を開発。航続距離テストやEVサーキット走行を繰り返して有効性を実証し、国内自動車メーカーのEV開発に多段変速機が採用されている。

多段変速機のメリットは、①一般道と高速道路走行時の減速比を切り替え可能、②モーターの高トルク発進を避けることで発熱対策OK、③モーター・バッテリーのサイズダウンを可能にし、EVの軽量化・コストダウンを実現。

繁原製作所
MNC
ATD
最新鋭の加工設備

株式会社繁原製作所は1968年4月に初代社長・繁原秀男さんが創業。社員45人のうち27人が技術者であり熟練職人の集団だ。各種歯車の設計・製作を得意としており、遊星減速機の設計・製作、競技用トランスミッションの設計・製作、そして電気自動車（EV）用減速機の開発・製作に業界の評価が特に高い。

4代目社長・繁原秀和さん（43）は、四條畷市に生を受けた。同志社大学商学部で学び、卒業後三菱商事テクノスに6年間勤務した。

同社に入社後、2020年4月に代表取締役社長に就任している。

繁原社長にモットーを聞いたところ、「人間万事塞翁が馬」。

若い人へのメッセージは「一所懸命に頑張りなさい」。

東大阪には凄い町工場があるもんだと実感した。

（小川秀人）

株式会社繁原製作所
代表取締役社長　繁原秀和
東大阪市東鴻池町5-2-7
TEL 072-962-8411（代）

晴耕雨読

言うべきはしっかり言う

ウォーキングで10分ほど歩けば脳内麻薬（ホルモン）が出てくる。本稿のテーマやアイデアがぽっと浮かぶ。だが、すぐに消えるのでメモをする。50年超の商店街は「シャッター街」から「消店街」だ。喫茶店では「黙食」、図書館では「黙読」が目に入る。サウナでは「黙浴」だという。

沖縄や岩国の米軍基地で変異型「オミクロン型」のクラスター発生で、1月6日、政府は沖縄・山口・広島3県に「まん延防止等重点措置」適用の方針を固めた。岸田文雄首相は在日米軍に対して基地内外でのマスク着用を義務付けるなど厳格な対策を1月7日の「外務・防衛閣僚会議」で要請すると表明。岸田首相は「日米地位協定の改定は考えていない」と明言したが、改定についてはしっかり言うべきだろう。

釈然としないのが中国の新疆ウイグル自治区の少数民族や香港での人権侵害を非難する対中非難決議の国会採択を見送ったことだ。日本のスタンスを明確にしておきたい。北朝鮮の極超音速ミサイル発射実験について日本政府は大使館ルートで厳重抗議したというだけだ。国際的に報道されるよう検討すべきであろう。なんでも文句やケチをつけるイチャモン国もあるが、常に正論を吐いていなければ「黙殺」されるだけだ。

「言うべきはしっかり言わなければならない」は岸田首相が昨年9月の自民党総裁選で述べた言葉である。

リーダーの饒舌は的がずれやすく疑問を残す。「簡にして要を得る」はコミュニケーションの基本だ。優れたリーダーはワンフレーズで話す。ごちゃごちゃしていては部下が戸惑い、右往左往して命を失う。だから命令は簡単明瞭なのだ。しっかりとはっきりを大事にしたい。もはや「沈黙は金」ではなくなった。

2022・1・15

寒中お見舞い申し上げます

八尾市倫理法人会
会長　尾崎航平
専任幹事　根岸健太郎
事務長　田辺寛

株式会社電業
代表取締役　濵谷和也
〒577-0065
東大阪市高井田中二丁目五番二十五号
電話（〇六）六七八一－二六一二
FAX（〇六）六七八二－一七八〇

まかして安心・安全
高圧電気設備の保守点検は
大阪電気保安協同組合
八尾市太田3丁目217－11
TEL 072－949－3125
TEL 080－3809－7065（担当：大澤）

明るい・楽しい・アットホームな教習所
運転免許取るならYAOKYOで！
八尾自動車教習所
八尾市高安町南七丁目二十一番地
☎（072）999－1234
HP：http://www.yaokyo.net/

お湯のいらない足湯　ゆっ太郎
持ち運びができて収納もコンパクト
株式会社藤原電子工業
http://www.fdk-ltd.jp/
〒581-0042
八尾市南木の本二ー五ー一
TEL（〇七二）九九一ー三九二七
FAX（〇七二）九九一ー三九九六
fujiwara-denshi@nyc.odn.ne.jp

株式会社摂津金属工業所
代表取締役　田中啓司
◆イタリア・アデジェ社製の最新鋭パイプレーザー加工機（写真）、ドイツ・トルンプ社製のレーザー加工機等の最新鋭設備がフル稼働。
◆パイプ材は自社工場造管設備でスピーディーに供給。パイプ材を主とした板金加工ならおまかせください。
◆店舗用陳列台・陳列金物・住宅設備品の開発・製造・販売もご相談ください。
〒578-0901　東大阪市加納4－14－12
TEL072－963－2606

株式会社カナオカ機材
代表取締役社長　七里和昭
〒577-0033　東大阪市御厨東二－十一－一
電話（〇六）六七八七－一四四〇

ええっ!?
環境活動して会社の業績UP??
ほんまかいな～
……もっちょい詳しく　TEL：072-991-8878
O-KES
KES・環境マネジメントシステム・スタンダード
特定非営利活動法人 グラウンドワーク八尾　大阪KES環境機構（O-KES）
詳しくはこちら→　http://www.gw-yao.com

ゲームシナリオ入門
基礎知識から設定・キャラクター・プロット・テキストの技法まで
北岡雄一朗 著
2,728円（税込）
ISBN 978-4-297-12203-4
株式会社技術評論社
東京都新宿区市谷左内町21-13
☎03-3513-6150
https://gihyo.jp/book

株式会社大和建設
代表取締役　米田憲生
〒581-0035　大阪府八尾市西弓削2－170
電話（072）949－3303
FAX（072）949－3304

黒田家　不動産賃貸業
代表　黒田昌宏
〒578-0915（自宅）東大阪市古箕輪一丁目三番五六号
TEL／FAX（〇七二）九六一－四五五七
携帯（〇九〇）二五九一－三一〇六
E-mail:kurodam63@gmail.com

一生涯のパートナー
第一生命
Dai-ichi Life Group
第一生命保険株式会社
布施支社
支社長　峯野敬子
〒577-0056　東大阪市長堂三丁目八－一四
電話（〇六）六七八三－一三九一（代）
URL：https://www.dai-ichi-life.co.jp

本は著者の分身
記憶は一代、記録は末代
自分史・社史
「著者と編集者が二人三脚で本作り」をモットーに親身になって本作りをします。
お気軽にお電話下さい。
株式会社ドニエプル出版
TEL072-926-5134

株式会社河内鉄工所
自社製作金型による品質管理・短納期対応
自社ブランド商品を積極的に開発・販売
（サーモセンサー付き足踏み式消毒液スタンド）
代表取締役社長　河内修
堺市堺区北庄町3丁1－17
TEL 072－221－4455

避難階段の決定版　簡易設置式くさり階段
逃げるんだ・登るんだ
平成27年度大阪府　中小企業新商品購入制度の認定商品
津波による人的被害をゼロにしたい
NPO法人　災害避難研究所
（理事長 松茂良興治）
〒578-0932　東大阪市玉串町東 2-5-39
TEL 072-925-3450　FAX 072-922-9653
MOB 090-1020-2682

注目の歴史小説

大阪城内の豊臣家をいかに残すかの駆け引き

大坂の陣

岡田秀文 著

双葉社
定価1，980円（税込み）

霧山文三郎（作家・日本史研究家）

秀頼
家康
大坂の陣
岡田秀文
信繁
双葉社

大坂の陣は、ご存じの通り、冬の陣と夏の陣の2度の戦いで、徳川が豊臣を滅ぼし、名実共に天下を手中にした戦いである。但し、昔を思い出せば、徳川家が豊臣家の配下から抜け出す契機となった「関ケ原の戦い」でも、家康は豊臣を敵視せず、嫡男秀忠の娘千を秀頼の嫁に出している。しかしその14年後になると、豊臣に言いがかりをつけ、徳川が一方的に戦端を開いては、騙すように和議に導き、総堀を埋め、城を裸にした後、再び言いがかりを付けて開戦し、豊臣母子を殺害した概略だけは、多くの人が知っている。本書は、戦いの詳細を、決して著者の思い込みや想像を交えず、丹念に調べ上げた通りに小説にしている。

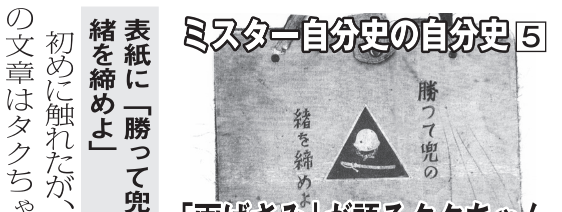
作者の岡田秀文氏が、徳川が大坂城を攻めに至る原因として挙げるのは、右大臣秀頼の成長ぶりや、大坂城が防衛のために関ケ原以来の浪人たちを集めたこともそうであるが、江戸の将軍秀忠を取り巻く幕閣と、駿府の大御所家康を取り巻く三河以来の家人たちとの覇権争いにスポットを当てているのには注目すべきである。本書で「結局、家康は最後の決着を自分の手でつけずにはいられないのだ。この徳川家の天下統一が、すべて家康の手で作り上げられたことを考えれば。それを譲り受ける秀忠は、家康から与えられる指示に唯々として従うしかない。そんな諦念が秀忠の心に満ちた」とあって、江戸と駿府の関係をうまく表している。秀忠にすれば、「なぜ、父上は信用してくれないのだろう」「なぜ秀忠が面目を失するよう、将軍の権威を傷つけるよう、立ち回るのだろう」の気持ちである。

甲斐の金山奉行、大久保長安の横領の発覚から、関ケ原の戦いに遅参した秀忠の立場を守った幕閣大久保忠隣がこの事件に連座して失脚し、三河以来徳川家を支えた大久保一派が一掃され、隠居していた駿府の大御所が実権を取り戻すと、一挙に豊臣への開戦気運となっていく。

このお家騒動から、終戦に至るまでの江戸と駿府の覇権争い、そして大坂城内の豊臣家をいかに残すかの駆け引きは、現代の企業ドラマを彷彿とさせる面白さである。

【著者紹介】
岡田秀文（おかだ・ひでふみ）
1963年東京生まれ。明治大学卒業。99年「見知らぬ侍」で第21回小説推理新人賞。2002年「太閤暗殺」で第5回日本ミステリー文学大賞新人賞を受賞。「太閤暗殺」は「おすすめ文庫王国2004年度版」で時代小説部門の第1位に輝く。15年「黒龍荘の惨劇」で第15回本格ミステリ大賞、第68回日本推理作家協会賞の候補になるなど、歴史小説とミステリーで評価を得る。著書に「賤ケ嶽」「関ケ原」「足利兄弟」「帝都大捜査網」「白霧学舎　探偵小説倶楽部」など。

ミスター自分史の自分史⑤



「画ばさみ」が語るタクちゃん

新風書房代表
福山琢磨（87歳）

表紙に「勝って兜の緒を締めよ」

初めに触れたが、この文章はタクちゃんが今も大切に保存している「画ばさみ」（**上の写真**）に語らせる形にしている。国民学校に入学した時からだから80年一緒にいる。

したがってその姿はよれよれで見るも無残である。「がばん」ともいうが、呼び名は地方によって違うようだ。

大きさはB4判の画用紙が挟めるぐらいで、素材はボール紙にガーゼのような薄い布を張ったものだからおそらく雨にでもやられたら、私の体はふやけてだめになってしまうような粗雑な代物だった。物のない時代だから仕方なかったが、よくもこの年までタクちゃんは私を手離さないでくれたものだ。もうあちこちいたんで見るに忍びない姿で恥ずかしいが、まだ大切にしてくれている。

私の唯一の自慢は表紙の図案だ。

中卒時のタクちゃん

写真でも分かるように鉄兜と剣の絵が真ん中にあり、「勝って兜の緒を締めよ」という格言が両脇に配してある。

戦時にかかわらず、人生を歩むのに、常に心しなければならない言葉である。

その年の12月8日に「大東亜戦争」が始まった。この呼称は「大東亜共栄圏の建設」を旗印に掲げたから、日本が命名したものである。

「太平洋戦争」の呼称は、アメリカが戦勝国となった昭和20年12月に、そう表記するように命令したからであった。

「皇国の道」「錬成」がない小学校令

国民学校になるまでの小学校令は、明治33年（1900年）に交付されたもので、児童の身体の発達に留意すること、道徳教育および国民教育の基礎ならびにその生活に必須とされる普通の知識・技能を授けることを述べていて50年間変わらなかった。

そこには「皇国の道」とか「錬成」という言葉は見られない。

（つづく）

税理士　**上西　知**

笑える税金教室をはじめましょう

新年おめでとうございます。そもそもこのコラムは笑いながら読んでいるうちに税金の勉強になるというコンセプトで始めたのですが、残念ながら、コロナの影響で新着情報をお伝えすることになり、頓挫してしまったのですが、今年から心あらたに始めたいと思います。

税金に詳しくなるためには、税理士が何をしているかを知ることが一番の近道だと私は思います。税理士はだいたい帳簿のチェックをしていて、税金の申告書を作って、決算書を作っています。法人（会社）の場合も、個人事業者の場合もほぼ同じですが、帳簿を一から作るのか、お客様が作ってくれるのかによって仕事の内容が変わります。申告書を作る際に大きく違うのは個人事業者か法人かによって税金の法律が、所得税法か法人税法かが変わりますので、まったく違う申告書なのです。所得税の確定申告書は、自分で頑張って作る人もいますが、法人税の申告書を自力で作るのは無理だと思います。法人の場合は、そこに地方税の申告書が必要となるのですが、所得税の場合は税務署へ提出した確定申告書の情報が都道府県や市町村に回るため、申告の必要がないのです。そのように申告書も作られています。会社もそうしてくれたら、楽やねんけど～。

帳簿を作成するためには、複式簿記の知識が必要です。複式簿記があるなら、単式簿記もあるのか？

はい。あります。複式簿記は貸借（借方・貸方）とか聞いたことあるでしょう。単式簿記は江戸時代の呉服屋さんの大番頭がつけていたような大福帳です。基本的に帳簿と言えば、複式簿記の知識が必要なので、多くの個人の納税者は複式簿記の知識が必要ない白色申告で確定申告しているのですが、青色申告者も複式簿記をマスターしている方は実は少ない。大切なことは大福帳をつけるくらいのマメさが帳簿には必要です。

コロナ禍で 話題の本

編集委員
石河亮平

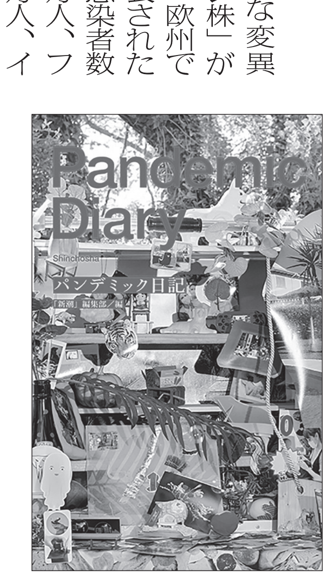
後世に残るべき書

パンデミック日記

「新潮」編集部 編

新潮社
定価1，980円（税込み）

欧米で新たな変異株「オミクロン株」が猛威を振るう。欧州では昨年末に発表された1日当たりの感染者数は英国で約19万人、フランスで約23万人、イタリアで約14万人だった。マクロン仏大統領は大みそかのテレビ演説で「今後、数週間は困難が続く」と予測し、ワクチン接種の広がりで「2022年は新型コロナ流行から脱却する年になるかもしれない」と期待を示した。



米国は直近1週間の1日平均感染者数は約38万6千人（米ジョンズ・ホプキンズ大、昨年12月31日時点）。日本では下火のところに感染力の強いオミクロン株が年明けから広がり、第6波が懸念されている。3回目ワクチン接種やPCR検査、経口治療薬などに期待が高まっている。

「お家時間」「巣ごもり」が増え出版企画もユニークだ。小欄でも紹介したが様々な職業人の苦悩を集めた「仕事本～わたしたちの緊急事態日記」、1人の熱血町医者の奮闘記「ひとりも、死なせへん」、イタリアの若者たちのSNS集「デカメロン2020」などがある。

コロナ禍の2020年　小説家や音楽家ら52人

どのように考え生活したのか

本書は著名な小説家や評論家、音楽家、漫画家、思想家ら52人の多彩な表現者がいかに1週間を過ごしたかを述べたものだ（平凡な日や行動の列記もある）。著者のはしがきもあとがきもなく、編集動機や意図も明らかではない。将来のいつかの日にひも解いてもらえばよいという出版者責任によるものだろう。その意味では後世に残るべき書だが、今が一読の時だ。

内容については、後の時代において、2020年のパンデミックが想起できるような表現を選んでみた。

筒井康隆（小説家）1月1日「出さなくなってからもう10年になるが…それでも年賀状を下さる人は多く、深夜まで整理に追われる」「邪魔が入らないので思い通りに捗ると短編を書きつぐ」

菊地信義（装幀者）2月5日「高層住宅や大型旅客機の外皮をはぎ取ったあられもない様に息を呑んだ。着岸した乗客乗員3711人の大型クルーズ船の映像」

角田光代（小説家）3月16日「感染防止対策で、私の通うボクシング・ジムの入り口には体温チェッカーと消毒薬が置かれていて、氏名と体温を記入して入室するようになっている」

石原慎太郎（小説家）4月8日「昨夕、緊急事態宣言が発せられた。地球と人類の終末を予感させるこの事態の将来は、物書きとしての人間に稀有なる体験を強いてくれる」

山城むつみ（批評家）5月12日「緊急事態宣言から今日でちょうど1ケ月。遠隔授業ゆえ、全授業分の掲示板、テスト、レポート等を見回り、投稿あれば回答する」

東浩紀（批評家・思想家）6月3日「前日夜に〝東京アラート〟発令された。東京は再びコロナに警戒せよとのこと。赤く不気味に照らされた都庁舎とレインボーブリッジの画像」

小川洋子（小説家）7月29日「リモート取材。リモートって一体何なんだ、と誰かに詰めよりたい気もするが、やるしかない」

津村記久子（小説家）8月27日「実家を出るのは、単純にウイルス感染拡大で苛つく家族に疎まれることがあり、こちらも信頼できなくなったからだ」

池田亮司（作曲家・アーティスト）9月23日「ストラスブール滞在10日目。コロナ状況下、EUで開催されること自体奇跡的であり、この老舗フェスティバルの気概にリスペクト」

村田沙耶香（小説家）10月12日「本当にとてつもなく久しぶりに、友達が家に来た。誰かが自分の部屋にいるなんて何か月ぶりだろうかと思う。直接人と会えたことが本当にうれしい」

柄谷行人（批評家）11月11日「今年の3月以来であるが、自宅に閉じこもり、散歩はするものの、人にはほとんど会わなかった。むろん、コロナのせいである」

平野啓一郎（小説家）12月1日「師走。何とも知れない1年があと1ケ月で終わる。今のところ、感染を免れているが、肉体的にも精神的にも半ば無自覚の疲労の蓄積を感じる」

新型コロナウイルスに翻弄されるなか、独自の思索と感性を持つ文化人らはどのように考え生活してきたのか。冷静に賢く注意深く対応している日常がよく分かる。

対面での打ち合わせや会議、授業などは在宅になりズームやオンライン、リモートになった。「不要不急」「外出自粛」などと叫ばれるなか「本が読まれ、売れている」という。

ただし、本書のように「ほんもの」や「いいもの」だけだ。

名店散策ガイド2021

東大阪の特長ある120店紹介

東大阪の特長ある店表彰
名店散策ガイド2021
2007年～2021年の受賞店120店舗を紹介!!
受賞店
東大阪商工会議所
特長ある店表彰
TAKE FREE
ご自由にお取り下さい
編集・発行　東大阪商工会議所

東大阪市は布施市・河内市・枚岡市が市町村合併で誕生した50万人都市であり、文化・産業・市井の暮らしもそれぞれの趣がある。

東大阪市にはマスコミ取材で有名な店、近隣の住民に親しまれている店など、他にはない特長ある商品・サービスを提供する店が数多くある。

東大阪商工会議所では2007年から4項目の審査基準を設けて、特長ある店を表彰する事業を実施している。

審査基準は ①経営手法に特長があること、②品揃え・品質・サービスに特長があること、③店舗施設などに特長があること、④その他特記すべき事項があること。

2007年～2021年の15年間、年に3回「特長ある店表彰審査委員会」を開催し、受賞店170店舗を特長がある店として表彰している。

「名店散策ガイド2021」（2021年11月13日発行）＝**写真**＝には、ガイドブック掲載を了解した120店を掲載した。

モノづくり東大阪のもうひとつの楽しみ、ガイドブック片手に名店巡りを堪能されてはいかがだろうか。

【問い合わせ先】
東大阪商工会議所振興部
東大阪市永和2-1-1
TEL 06-6722-1151

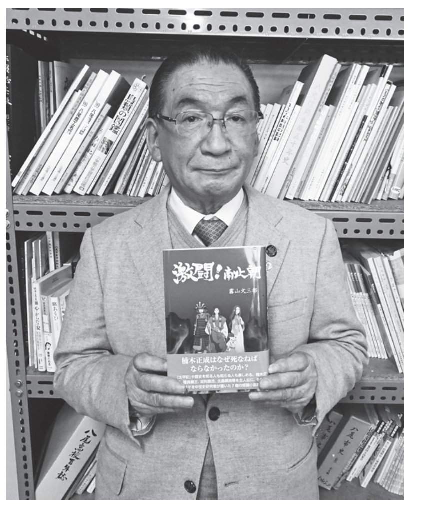
新　刊

南北朝史の真相に迫った7編の短編小説集

激闘！　南北朝

霧山文三郎 著

ドニエプル出版
定価2，200円（税込み）


激闘！南北朝
霧山文三郎
楠木正成はなぜ死なねばならなかったのか？

作家・日本史研究家の霧山文三郎氏（本名・野瀬泰良氏、74）＝**写真**＝が、2020年6月発行の長編企業小説「負けてたまるか」に次いで南北朝史の真相に迫った7編の短編小説集「激闘！　南北朝」をドニエプル出版から上梓した。

「太平記」は「平家物語」に並ぶ日本の古典文学であり、鎌倉末期から室町時代に書かれた軍記物語（著者不詳とも）である。後醍醐天皇即位の1318年から細川頼之が管領に就任する1368年の50年を描いた戦記物語である。著者は「後醍醐天皇の鎌倉幕府討幕の企てに始まり、室町幕府2代将軍足利義詮の死で終わるという、実に40数年にも及ぶ天皇と武家の激闘を描いた長編戦記物語」だと述べている。

「南河内の片田舎の地頭の2代目に過ぎない『楠木正成』の名を知らないものがないほどに国民的英雄に押し上げたのも、この『太平記』でした」と著者。神戸生まれの記者は子どものころからJR神戸駅前の湊川神社を「楠公さん」と敬い、教わった。和田の浜、会下山、西国街道などの地名に接して感慨深い。千早赤阪は楠木正成の地元の河内であることから親しみを持って読める人も多いだろう。

世代を超えて、山岡荘八著「新太平記」（講談社文庫）、NHK大河ドラマの原作である吉川英治著「私本太平記」（講談社文庫）、今東光著「太平記」（徳間文庫）などに親しんできた。「ゴルゴ13」のさいとう・たかをが「太平記」を漫画にするほどだから今なお人気は高い。

「太平記」には様々な見方がある。「逆臣尊氏、忠臣正成」という勧善懲悪、因果応報などの考えが生き方の手本になっていたこと。徳川時代に徳川光圀が「大日本史」編纂において「太平記」を資料にしたこと。イエズス会の宣教師らも日本歴史や文化、思想を学ぶために資料として注目していたことなど。徳川歴史学的には皇国史観として扱われたりして「戦前の国粋主義教育に都合よく切り取られ国民に教えていた」と著者は指摘する。これほどに「太平記」はすごい軍紀であり歴史書である。正成の妻・南江久子の処世術や夫婦別姓（楠木姓を使わず）などは現代女性からも共感を得るだろう。

本書には読みやすさと親しみやすさの工夫が施されている。ハードカバーのカバー絵は戦乱をイメージさせる火焔に主人公を配し、裏は般若と翁の能面で読み手を誘う。次に、地図や主な登場人物、関連人物系図が詳しい。「南北朝時代畿内地図」や「箱根・竹ノ下の戦い地図」「湊川の戦い地図」などに加え「天皇家」「楠木家」の系図などが理解を助けてくれる。さらに、南北朝時代の社会、風習、太陰暦、天皇の意味などが「はじめに」で解説されて、広範な内容の概要がつかめるのもありがたい。

物語は、まず正成と久子の結婚の場「夫婦の千早城」から始まり「父と子」「武家の棟梁」「湊川からの生還者」「後醍醐天皇救出作戦」「浮き草の流れゆく如く」「哀しき窮鼠の反撃作戦」など7編から構成。短編を並べると長編小説の章立てにもなるので長編のストレスは感じない。

太平記にまつわる各地の伝説などについて現地を訪ね、その地の郷土歴史家らから丹念に聞き取り取材したことで史実に厚みが出ている。著者は日本史研究家としての面目躍如たるところだ。

皇統が2つに分かれ、朝廷が分裂並立するという異常な時代。公家と武家、朝廷と幕府に横行する権謀術数、下剋上、裏切り、不条理などが当たり前の争乱の世において、表題「太平」とは何だろうか。なんとものどかな緩いことばだ。世の中が平和であり平穏であることを望み願うことなのか。いや、おびただしい犠牲者の怨霊鎮魂の祈願ではないのか。一大絵巻を読みやすい文体で生き生きと活写する。日本史研究家ならではの力作は堪能できる。

（石河亮平）

東大阪の古代史研究家

十帖田の古代史塾 ㊲

百人一首殺人事件 ㉟

殺人事件はこれで解決してしまった。しいて残る疑問と言えばなぜ大伴が「源氏がたり」をポケットに入れていたかだ。大伴が死んだのは随心院だった。彼は小野小町の謎にチャレンジしていたのではないかと成平は思った。

秋も深まったある日、成平と恬子は京阪電車の車内にいた。小町塚があるという関蝉丸神社の周辺を歩いてみようというのだ。小町と蝉丸の距離が縮まるかもしれないという淡い期待もある。地下鉄東西線を乗り継ぎ浜大津方面へ向かう。京阪京津線上栄町駅で降りた2人は、関寺跡と言われる長安寺に立ち寄る。そこに牛塚と言われる石塔があるのだが、これが古い関寺の絵の右端に描かれているらしい。長安寺にも真新しい小町供養塔がある。

長安寺を出て線路を渡ると銭湯小町湯があり、それを道路に沿って右折、少し歩いて再び線路を渡ったところに関蝉丸神社がある。旧関寺の真ん中あたりに位置しているらしい。ここには小町塚がある。

全国に200以上の伝承地があり有名なのに、小野小町はほとんどその正体が分からない。しかし、大伴は小町が阿保親王の女性で、蝉丸と同一人物だという結論を出した。ここで注意しなくてはいけないのは、同一というのは全くのイコールではないということだ。その名を借りて一部を書き込むということなのだ。話し始めた。

「小町の正体を吉田兼好は徒然草の中で、分からないと言っている。では紫式部ならどうだろう。多少知ってたんじゃないかな。それを自分の作品にモデルとして使うことって考えられないかなあ。これははゲームだよ。もし源氏物語に登場する女性の中で小町をモデルにした人がいたとしたらそれが誰かを無理やり見付けるっていう」

「クイズみたいなものね。私チャレンジしてみるわ。まず自由に恋愛する朧月夜みたいな人は駄目ね。彼女だと深草少将なんか3日目で受け入れるわ。結構身持ちの堅い人をチェックする。それと出家しているって条件もクリアーしなきゃね。そんな人いるの」

「実はいるんだよ。一度光源氏にレイプされているのにその後一度も彼を受け入れなかった。そして出家もしている」

「それって、空蝉」

「大伴が持っていた『源氏がたり』を読んでみたんだけど、その空蝉と光源氏がすれ違うのが逢坂の関だよ。ここなんだよ。空蝉と蝉丸。何か匂わない。うつせみの身をかへてける木のもとになお人がらのなつかしきかなという歌からなんだけど、こんなのいくらでもこじつけられるよ。当時の人は空蝉のことを読んだら小町を思い浮かべたかも知れない。光源氏は空蝉の衣を持って帰るんだけど、これってキーワードの衣だよ」

「キーワードよねえ。それに逢坂の関で空蝉と蝉丸か。蝉丸はきっと女性だわ。だって鳴かない蝉なんでしょ。それに○（まる）って空よね。これってこじつけ」

「違うよ。きっと蝉丸は女性だよ。これで小町と蝉丸がずいぶん近づいたなあ。ところで話は違うけど食欲の秋っていうだろう。うなぎでも食べない」

恬子がうなぎ好きなのを知っていて成平がそう言った。以前我慢したこともある。大谷駅まで歩いた2人は、うなぎを食べてから駅近くの蝉丸神社（分社）にも寄って帰路についた。

100文字歴史小説

忠義者の虎

作家・株式会社レプトン代表取締役　**真弓創**

ある者が藤堂高虎を揶揄してこう言った。

「お主は主君を八度も変えたそうだな。忠義の心を知らぬのか」高虎は首を傾げた。

「餌が足りなければ虎も狩場を変えまする。主君を食わなかった分、むしろ某は忠義者では？」

牛のしっぽ Vol.3

退学勧告処分

高校2年生への進級クラス編成会議。私の期待もむなしくまたもや私のクラスになりました。

登校途中、喫茶店での喫煙行為で2回目の退学勧告処分。2学期東北修学旅行中タバコの臭いがするも証拠はなし。

ある朝、頭と顔の周りの包帯姿で登校。家で階段から落ちたとのことですが他校生と公園で喧嘩の末、レンガで顔を殴られたと後から聞かされました。

ふざけた授業態度も相変わらずです。そして3学期またも喫煙行為。退学処分か退学勧告処分かで職員会議で議論の末、退学を迫る勧告処分に決定です。3年生の夏の下校時、学校から少し離れた喫茶店で、友達数人と喫煙行為中を巡回中の生活指導部の教師に見つかりました。これでアウト！　ゲームセットです。

退学処分の決定を想定し、自主退学が学歴に傷がつかない旨を担任から諭すことになりました。

さあ、新米担任の私は一大事です。担任の指導力と人間性が試されることになってしまったからです。（K・N）

新連載

ある海軍上等兵の戦争〈1〉

作家・医師　久志本　東

新兵時代

昭和17年（1942年）、僕は満16歳のとき志願兵として海軍に入りました。最初は近海を練習船にて海軍兵士としての訓練を受けました。僕は次男でしたが、下に妹、弟がたくさんいました。母親を除く家族全員は出征を喜んでくれました。型通りお国のためだということです。集合地の梅田まで万歳の声で送られました。

その当時、一家で1人が出征すればほかの兄弟は戦争に行かなくてもよいと思われていました。父親はお前が志願兵として戦争に行けば長男は大丈夫と言っていました。4歳上の兄は僕と違ってよく勉強ができ、卒業時には学校総代になったりし、親にとっては自慢の子だったようです。運命は皮肉で、敗戦間際に兄にも赤紙が来て陸軍出征が命ぜられ、結局泥沼の中国に送られて戦死か病死（詳しいことは分からない）してしまったのです。

一方、僕は昭和17年（1942年）5月1日大竹海兵団に入団、海軍四等水兵を命ぜられ恐怖の新兵教育を受けました。体力には自信があったので、頻繁に繰り返される丸太による尻バット、顔面や頭部に対する鉄拳制裁にも耐え、3等水兵を経て軍艦「鬼怒」の定員外乗り組みを命ぜられたのです。その間訓練といえば聞こえはいいのですが、実際は上官による新兵いじめが続きます。甲板の洗浄、清掃、上官の衣服洗濯と整理整頓、食事の準備、その上に兵士としての訓練がありました。とにかく自由にできる時間はほとんどありません。理不尽な上官の指令で船の中を走り回っておりました。これらの作業中に失敗ややり残しがあると、あちこちからげんこつが飛んできます。面白いものでそのような理不尽に加えられる痛みにもいつしか耐えられるようになり、苦しい中にも船旅を楽しむ気分が生まれてきます。しかし、制裁に耐えられず自殺した水兵もいたようです。

艦上の忙しい合間にも相撲大会、カッター競争、水泳大会などが時折行われます。僕は小さい身体でしたが、相撲は得意で時に大男を投げ飛ばしたりしました。訓練でつらいのはオール漕ぎです。思い切り漕がなければ顔へのビンタや棒によるしばきを食らうので必死でしたが、お尻の皮がずるむけになってしまうこともありました。

その間に5月10日のフィリピン駐留米軍の降伏があり、日本軍の快進撃が報道されました。しかし、そのわずか1カ月後の6月7日ミッドウェー海戦で日本軍は大敗北を喫します。この戦いは太平洋戦争の大きな転換点で、日本では「東太平洋全海域を制圧」という大本営発表があり、日本が初めてアメリカに敗れたということは知らされなかったのです。

そして、8月7日米軍のガダルカナル上陸が敢行され、言葉で尽くせないような悲惨な戦いの後、翌年2月の日本軍撤退に追い込まれるのです。この場合も大本営発表は負けたと言わず、「他の戦場に転進」という造語で国民を混乱させます。これらの戦いについての情報は何となく乗組員全員に知れわたります。もちろん大きな声でそのことについて話をすることは許されていませんでした。

セレベス島へ

その後、1等水兵に任じられ呉港からセレベス島（現在はスラウェシ島）のマカッサルまで元客船で海軍の輸送船として使われていた「鎌倉丸」に便乗し、昭和17年（1942年）11月21日、バンダ海にあるアンボンにて軽巡洋艦「鬼怒」に乗艦しました。なお、「鎌倉丸」は次の年の4月にアメリカ軍の潜水艦により攻撃され沈没しました。「鬼怒」は大正11年（1922年）に竣工した5、500トン型の2等巡洋艦で全長162m、定員450人です。竣工されてすでに20年が経った軽巡洋艦です。「鬼怒」は3月より西部ニューギニア作戦（N作戦）に従事した後、5月に呉で入渠整備をされていたのです。11月24日、僕が乗った「鬼怒」はアンボンを出港し12月13日マカッサル、29日ジャワ島のスラバヤ入港、次いで昭和18年1月2日、マレー半島の先端にあるシンガポールに達し入渠（ドックに入ること）しました。2週間シンガポールに滞在した後、スラバヤを経て1月24日母港であるマカッサルに帰りました。その間にようやく「鬼怒」の定員（正式の乗務員）を命ぜられたのです。

1月27日軽巡洋艦「名取」を護衛してシンガポールまで往復し、2月5日マカッサルに帰港しました。「名取」はその後バタビア沖海戦においてアメリカの重巡洋艦撃沈に貢献するなど戦いを続けていましたが、8月18日フィリピンのサマール島近くで米潜水艦の雷撃を受け沈没、550人が戦死しました。183人はカッター3隻にて死を免れたそうで、「名取」に乗艦していた松永市郎がその話を小説にしています（「先任将校」光人社）。

一方、僕が乗っていた「鬼怒」は2月12日スラバヤに入港し陸軍部隊を輸送、次いでニューギニア西部のカイマナに行き部隊を上陸させ、カプイにおいても部隊を揚陸し、警泊、訓練を行いました。その後、ボルネオのタラカンを経てマカッサルに帰港したのが3月15日でした。

4月12日再びスラバヤ経由、シンガポール入港、修理、整備作業後ジャカルタを経由して5月29日スラバヤで陸軍部隊を輸送、マカッサルに入港した後、6月2日陸軍兵の上陸のためモルッカ諸島の戦前オランダの海軍基地があったアンボンに行き、パボ、プラ、バチャンを経て、6月10日マカッサルに帰ってきました。我々が乗せニューギニアに上陸させた陸軍部隊は以後二度と戻ってくることはありませんでした。ニューギニアにおける戦いもありましたが、多くは飢えと風土病に侵されたと聞いています。

このニューギニアを巡る戦いは昭和17年3月から本格的な戦端が開かれ、終戦の日を超える昭和20年9月まで泥沼の戦いとなりました。投入された兵員は20万人、生きて帰国できたのは2万人といわれています。補給もないなか、栄養失調や病気で死ぬ例が多かったそうです。多くの兵が戦闘ではなく飢えや病で死んだと最近の新聞にも載っていましたが、その見出しは「壮大なる無駄死」というものでした。月に70、80人の兵が栄養失調などで死んでいったそうです。僕の乗った軽巡洋艦「鬼怒」はそれらの戦いもせず死んでいく運命の兵士たちをたくさん何回にも分けて輸送していたのです。

（つづく）

楽書楽読帳　㉛

夢野悠人

重野安繹に教えられた西郷

優れた人は自然を最良の師とし、次いで優れた人を、その次に書物を師とする（「言志四録」第2条）。書物の理解だけではなく優れた人から教えられ学んだことを忘れてはなりません。

異郷の地での邂逅は偶然なのか必然なのか、必然であり天の配剤だったのかもしれません。その人の名は重野安繹（1827年～1910年）です。

潜居の奄美大島で、流刑の身である元薩摩藩士・重野安繹という人物が西郷を訪ねてきます。

重野は国元で漢学を修め、22歳で全国から秀才が集まる江戸の昌平黌で学んだのち薩摩に帰国。同僚の金銭着服の罪で遠島処分を受けていました。

その後、重野は文久3年（1863年）の薩英戦争で、巨額の賠償を強引に求める英国を相手に、ひるむことなく薩摩藩の利益を守り抜き、その年の10月に和解。その手腕が評価され新政府から外交官として誘われますが、彼は学問の道を選びます。日本の歴史の編纂に取り組み、「歴史的事実による実証」を提唱した日本歴史学研究の泰斗として、日本初の文学博士、東大教授として活躍した偉人。

さて、本題です。西郷は橋本左内が安政の大獄で斬首刑（1859年）、と知り大きな衝撃を受け絶望感に苛まれ失意のどん底にいました。葉室麟は自著「大獄 西郷青嵐賦」（文春文庫）において最良の師となる重野と西郷の対面を描いています。

〈（心を閉ざそうとしていたところに）吉之助にとって幸運だったのは重野安繹という薩摩藩士がこのころ、奄美大島の古仁屋というところに流されていたことだ。重野ははるばる、吉之助のもとに訪ねてきてくれた。吉之助と同年だが、江戸の昌平黌の生徒となり、安井息軒などの学者から学んだ薩摩藩きっての秀才だった。（中略）学問に優れた重野の話を吉之助は喜んで聞いた。その時、重野はふと、「おまんさあは、王学はご存じごわすか」と訊いた。

「言志録」を好んで読み、自分用に抜き書きまで作っていた。それだけに、陽明学に興味があったが、学んではいなかった。「重野さん、そや面白か。教えてたもんせ」吉之助は頭を下げた。重野は手を振った。「いや、おいも詳しゅうはなか、そいどん、王陽明は苦境にあって悟りば開きもした。そんことを西郷さあが知りたいかもしれんと思うたとでごわす」吉之助はにっこりした。「ぜひともお願いしもす」吉之助に言われて、重野は話し始めた。

自分だけが助かった自分は土中の死骨と称して恥じた〉

葉室麟
大獄
たいごく
西郷
青嵐賦
さいごうせいらんふ
文春文庫

葉室麟著「大獄　西郷青嵐賦」

子育てエッセー②

非認知能力を家庭の中で育む

BYBS非認知能力育児コーチ　東口　るみ

自己肯定感を高めるスキルを学べるのが非認知能力子育てコーチングです。

非認知能力とは2000年にノーベル経済学賞を受賞したジェームズ・ヘックマン教授が「人生の幸せと成功に学力よりも大きく寄与する能力」と証明した能力で、数値化できない力です。

非認知能力は生きる力ともいえますが、主なものに自信・自己肯定感・自制心・主体性・やり抜く力・回復力・共感力・協働力・柔軟性・想像力・社会性などが含まれています。

子どもの非認知能力を伸ばすことは、親の向き合い方がポイントになってきます。

家庭の中で非認知能力を育める環境を整えて愛する我が子にワクワクする人生をプレゼントしませんか。

可能にするのは学力＋α（非認知能力）。それが「世界最高の子育て」です。

ボーク重子の「3カ月チャレンジ」で子どもの非認知能力を効果的に家庭で育みませんか。

各ステップ4週間で学んでいきます。

＊＊＊

【BYBSメソッド3カ月チャレンジレッスン内容】

1カ月目：非認知能力の大本、自分の価値・存在を認められる安全な環境を整える。

(1)心の安全な環境を脅かす4つの要因（限られた真実など）に対処するスキルを習得

(2)心の安全を脅かされたときに素早く回復のためのスキルを習得

(3)GROWモデルとリフレーミングスキルを習得

(4)心の安全を維持する自分との対話術、コミュニケーションスキルを習得

(5)子育てへの落とし込みワークショップ（子どもへのポジティブな声かけの徹底）

（つづく）

拉致問題の本質は主権問題

横田めぐみさんの弟　横田拓也家族会代表が講演

題啓発講演会
大阪連絡会議・東大阪市人権啓発協議会

北朝鮮に拉致された横田めぐみさんの弟で、家族会代表の横田拓也さん（57）＝写真＝が昨年12月18日、クリエイション・コア東大阪（東大阪市荒本北1）で「拉致問題の本質とは」と題して講演した。野田義和東大阪市長も駆けつけ、「東大阪市は拉致問題啓発映画『めぐみ』を可能な限り学校で上映する取り組みをしている」と述べた。木村芳浩東大阪市議会議長も参加し、「ブルーリボンの着用を呼びかけ、拉致被害者の生存と救出を信じる意志を示す取り組みを続けている」と語った。横田さんの講演後は、フジテレビアナウンサー三田友梨佳さんとの対談も行われた。

この日未明、前家族会代表の飯塚繁雄さんが死去。その1週間前の11日に代表に就任したばかりの横田拓也さんは、講演の冒頭、「心が動揺し無念でならない。飯塚さんの遺志を受け継ぎたい」と語った。その上で、「姉めぐみが拉致されたとき、私は9歳だった。その私が3代目の家族会代表になったこの異常さを、当たり前のこととして受け止めてほしくない」と訴えた。

講演の内容は次のとおり。

＊＊＊

北朝鮮の元工作員の証言によると、拉致された直後、工作船の鍵のかかった部屋に閉じ込められた姉は、「お母さん、助けて！ ここから出して！」と泣いて叫んで、指でかきむしっていた。指先の爪は血だらけになった。大人の私たちでさえ怖いと思えるのに、13歳の少女がその時の恐怖をどう感じたのか。姉弟でなくても許せない犯罪だ。いつもこの話をするとき、姉のことが心配でならない。

姉が拉致された当日はこたつに入ってテレビを見ていた。様子がおかしいと中学校の方へ母が双子の私たちふたりを連れて薄暗いなか、懐中電灯を持って探しに行った。当時家の近くに廃墟になっていたお化け屋敷のようなホテルの中にも入ったが、あまりにも怖くてすぐに出た。その後も様々な場所を探し回ったが見つからなかった。これが我々の拉致事件の始まりだった。

姉がいなくなってからは家庭の中の雰囲気は一変した。言葉の数が少なくなった。子どもの中でも姉の話はしてはいけないという気持ちになった。両親もそうだし、我々も両親にどう接したらよいか分からなかった。一番辛かった1～2週間だった。

玄関先には警察の方々の靴がびっしり埋まっていてその異様な風景に驚いた。脅迫の電話やいたずら電話もあった。ともかく姉が帰ってこないという事実が9歳だった私には受け入れられなかった。この時期が44年間の闘いのなかで一番辛かった。

父は我々双子のために犬を飼った。犬の散歩を父とするのだが、私自身、姉のバドミントンのラケットや靴が落ちているのではないかと見て回っていた。父も同じことをしていたと思う。母は、テレビに映っているめぐみに似た女の子を見ると、テレビ局に問い合わせたり、ある雑誌に載った似ている女の子を見ると出版社へ連絡を入れたりして探し続けていた。だが、残念ながら手がかりは見つからなかった。

当時、北朝鮮がどんな国であったかは日本ではよく知られていなかった。日本の報道機関は北朝鮮を「朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）」とわざわざ断りを入れて、腫れ物に触るかのような扱いをしていた。警察や報道機関がもっと強く北朝鮮に対処していたら、こんなに長い苦しみはなかったかもしれない。

もし姉に拉致問題が起きていなければ、高校や大学への進学とか、就職をして恋愛をして結婚をして子どもを授かって社会貢献をするなど、いろんなことができたんだろうなといつも思う。社会で活躍している女性や、家族連れで公園を歩いている女性を見ると、こういう当たり前の普通の幸せを姉も送れたのではないかと、いつも姿をだぶらせて見ている。人の人生を根本から奪った北朝鮮を絶対に許すことができない。

両親は子どもの前では決して取り乱すことはなかった。涙を流すこともなかった。ただ、一度だけ、お風呂場へ入っていったとき、父が先に入っていて、湯船から汲み取ったお湯を頭からかぶって息を殺して泣いていたうしろ姿を見てしまったことがあった。子どもの前では泣けないからお湯の力を借りてごまかして泣いていた。本当につらかった一瞬だった。

母は私たちの前では泣いていなかったが、私たちが小学校へ登校した後に泣き叫んでいたということを最近知った。親がどれだけつらい気持ちであったかを思うと、可哀そうでならないし、北朝鮮を許すわけにはいかない。

1997年に家族会が発足した当時は、拉致「事件」ではなく、拉致「疑惑」と報道されていた。我々の主張は間違っているという雰囲気だった。国内の敵と闘わなければならなかった。

街頭で署名活動をしていたときでも、両親が署名用紙を置いている画板の板を叩きつけた女性もいた。

一方で、腰ぐらいの背の少女がやってきて、自分の小遣いの100円玉を募金しますと言ってくれたことには今でも感謝している。私はそういう温かい気持ちによって、ブレずに今も活動を続けられている。今日集まってくださった方々からも勇気をもらっている。絶対に負けてはならないという思いだ。

両親は1、400回以上、国内外の集会や講演、政府への嘆願などに参加してきた。あまりにも忙しすぎたので「無理をせず少し休めば」と何度も提案したが、「絶対に諦めてはいけないんだ。後悔はしたくないから」と活動を続けた。そのことで結果的に体を悪くしていった。代表職とはどれだけつらく重い立場なのかと思うと、私も気を引き締めてやらなければならない。

「横田めぐみ」という実名を公表するかどうかということでは、家族の中で侃侃諤諤の議論があった。母と私たちは公表すべきでないと反対したが、父は「新潟県のMさん、Yさん」では誰も関心を持ってくれないから実名でなければならないと主張し、何度も喧嘩した。最後は父を信じて実名公開に踏み切った。結果的に、今ではその判断が功を奏しこの問題のシンボル的な存在になったが、当時は姉の命が狙われるのではないかと心配した。このような苦しみのなかで横田家や他の家族は今日を迎えている。

2002年9月17日の日朝首脳会談で拉致を認めた北朝鮮。今まで北朝鮮が拉致をするわけがないと主張していた人たちは蜘蛛の子を散らすようにあっという間に逃げ去った。そのとき、初めて私たちが主張していたことを認めてもらえるようになった。ここから具体的な闘いが始まった。

北朝鮮が出してきた死亡診断書は年月日を含めすべて杜撰なものであり、偽の遺骨を持ち出し私たち家族の心を倒そうと工作をしてきた。人権を踏みにじり尊厳を愚弄し続けているのが今の北朝鮮の実態だ。

北朝鮮のことを考えるとき、核開発やミサイル問題などの安全保障の問題も忘れてはいけない。1発の弾道ミサイルにかかる費用は4～8億円かかると言われている。2、500万人の国民や拉致被害者の生活向上にそのお金が使われず、先軍政治を押し進めていることは間違っている。

さらに、この拉致問題は主権の問題でもある。これは横田家の問題だけではなく、我々全員に課せられた問題だ。

米朝首脳会談で拉致問題が議題に上った。金正恩はもう言い逃れができない。日本政府を含め、家族会・救う会・拉致議連の方針は「拉致被害者全員の即時一括帰国」だ。拉致被害者が帰国できれば、彼らから聞いた秘密の情報は暴露はしない。北朝鮮を脅かしたりなどしない。日朝交渉を妨害したりしない。このことは金正恩委員長には何度も伝えている。勇気ある英断をして欲しい。人権問題である拉致問題、つまり全員の被害者を返すことをして欲しい。

（中野善典）

（つづく）

小説

デジャビュ

中森　臨時

（北河内在住の小説家）

デジャビュ。既視感。初めての体験を、あたかも以前に体験したことがあると感じること。

※

「なんでここに住んだの」君の何気ない質問が、おもむろに僕の心を乱した。

「ほら、そこの階段。公園の展望スペースにつながってるんだけど、初めて見たときにビビッときた。どこかで見たことがあるような気がして。これがデジャビュかって」僕は平静を装う。

視線の先には、石造りの階段がある。ちょうど7、8歳くらいの男児が降りてくるところだった。階段の踏み板の奥行きがまちまちで、降りづらそうだ。左手で手すりをしっかりと握っているが、手すりは細く頼りない。

「ただ、やっぱりどこかで見た記憶があったんだ。思い出せそうな気がして。何度かこの公園に来ているうちに、この街が気に入ってね。それでそのまま」これは本当のことだ。

「何なのそれ。それで思い出せたの」君は呆れている。

「ああ。結婚式で使うために、実家から小さい頃の写真を送ってもらっただろ？ その中に家の近くの文化ホールで撮った写真があったんだ。そこに、その階段の絵が写っていた。それがデジャビュの原因さ。『既視感』というように実際に見たことがあったんだよ」写真の中の絵は見切れていたが、目の前の階段で間違いない。

「それって、その絵の画家もこの街に来たってことだよね。運命的じゃん」そう。運命的だと思っていた。さっきまでは。

※

君の言葉で思い出した。

母があの写真を撮った後、私は1人で文化ホールを探検していた。すると、いつの間にか屋外におり、見覚えのない古い石造りの階段を降りていた。不安を抑えながら進んでいると、女性の声が聞こえた。

「なんでここに住んだの」

美しい人だった。一方、なぜか一緒にいた男性の顔を見てはいけないと感じ、踵を返して階段を駆け登った。

気がつくと文化ホールに戻っていた。

すっかり忘れていた。これが全てのデジャビュの元だ。君への一目惚れと思っていたものも、またデジャビュだったわけだ。

ウクライナ・ブックレット

1 ウクライナ丸かじり
～自分の目で見、手で触り、心で感じたウクライナ～
日本ウクライナ文化交流協会会長　小野元裕 著

2 クリミア問題徹底解明
大阪商業大学教授　中津孝司 著

3 マイダン革命はなぜ起ったか
―ロシアとEUのはざまで―
神戸学院大学准教授　岡部芳彦 著

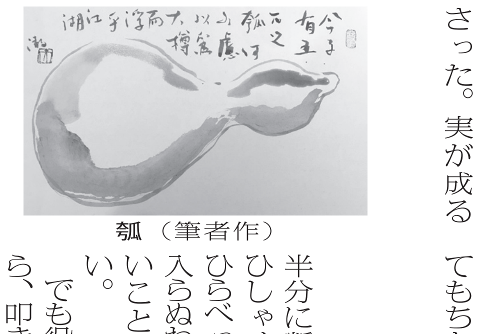
4 ウクライナの心
ウクライーンカの詩劇、スコヴォロダの寓話
東京外国語大学名誉教授　中澤英彦 著
麗澤大学大学院卒　インナ・ガジェンコ 訳

各A5判　定価550円（本体500＋税10%）
企画・編集　日本ウクライナ文化交流協会
発　行　ドニエプル出版
〒581-0013　大阪府八尾市山本町南6-2-29
TEL 072-926-5134　FAX 072-921-6893
発　売　新風書房
全国の書店で好評発売中

荘子と語る 十九

大阪府立大学名誉教授
立命館大学教授
大形 徹

大きな瓠


瓠（筆者作）

恵子が荘子に言った。

「魏王がわしに大きな瓠の種をくださった。実が成ると、5石（約19リットル）をみたす大きさじゃ。

水を入れれば重くてもちあげられず、半分に断ちわって、ひしゃくにすれば、ひらべったくて何も入らぬわ。バカでかいことはバカでかい。

でも役立たずだから、叩き割ったよ」

荘子が言った。

「センセイは大きいものの扱いがヘタですな。宋人にアカギレ知らずの薬を作る者がおりました。

代々、ワタを水でさらすことを生業とし、たまたま客が聞きつけ、製法を百金で買うと、もちかけたのです。宋人は一族と相談し、『代々、ワタをさらして身過ぎをしておるが、売り上げは数金じゃ。今、一朝にして、その技を百金にて売ることができる』と。客はアカギレ知らずの薬の製法を手に入れ、その足で呉王に説いた。越と戦争が起きたとき、呉王はこの客を将軍とした。冬になり、越と水戦し、大いに越を破り、呉王は客に領地を与えたのです。薬ということでは同じじゃが、一方は領地を得て、もう一方はワタを水でさらす仕事から逃れられただけ。用い方が違うからじゃよ。

センセイは5石の瓠で大樽を作り、江湖に浮かべることを思わなかったんですかのう。意外と頭のカタイお人じゃのう」

※恵子はいつも大きなことを言っている荘子をからかうが、やりこめられた話。製法を買う話は、現代の特許に似ている。

近鉄文化サロン上本町で「荘子を読む」開講中

書き初め＆抱負発表会

書家3人が書道パフォーマンス披露

八尾市倫理法人会

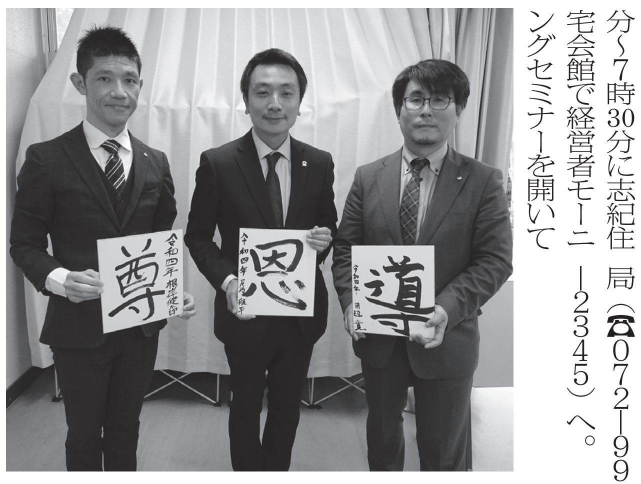
八尾市倫理法人会（尾崎航平会長）の新春経営者モーニングセミナーが1月4日に志紀住宅会館（八尾市志紀町西1－3）で開かれた。

書き初めを持って全員集合

内容は毎年恒例の「書き初め＆抱負発表会」で、初めに同会会員の書家3人中山聖士さん（41）、井口知代さん（30）、中野一生さん（47）が合同で書道パフォーマンスを披露した。作品のテーマは「不立文字」。悟りは文字では伝えることができず、心から心へ伝えるものだとする禅宗の標語。

その後、会員が抱負を込めた一文字をそれぞれ発表した。尾崎航平会長（45）は「恩」、根岸健太郎専任幹事（44）は「尊」、田辺寛事務長（45）は「導」を書いた。

左から中山聖士さん、井口知代さん、中野一生さん


左から根岸健太郎専任幹事、尾崎航平会長、田辺寛事務長

八尾市倫理法人会では毎週火曜日朝6時30分～7時30分に志紀住宅会館で経営者モーニングセミナーを開いている。ゲスト参加無料。問い合わせは同会事務局（☎０７２－９９１－２３４５）へ。

八尾・柏原版

八尾柏原支社
八尾市山本町南６－２－29
TEL 072－926－5134
FAX 072－921－6893

自律神経を整え体をもとの元気な状態に

自律神経専門 たおやか整体院 松井友秀院長

認定証
明日の有名人
に認定します
株式会社 東大阪新聞社

自律神経の乱れが体の不調に大きく関係している。仕事や家庭におけるストレスや肉体的疲労、食生活の乱れにより起こる内臓疲労など、原因は1つではなく複数が積み重なり、病気につながる。自律神経専門「たおやか整体院」の松井友秀院長（32）＝写真＝はそう説明する。

松井院長はおじいちゃん子で、よく一緒に整骨院へ行っていた。治療を受ける祖父の姿を見るうちに、治療家（柔道整復師）をめざし、高校卒業後に関西医療学園専門学校（大阪市住吉区苅田6）へ進む。

2年生のとき、祖父が胃癌と肝臓癌で闘病生活に。苦しんでいる姿を見るだけで何もできない自分を責めた。「病気で困っている人を助けたい」と心底思うようになり、勉強に励み、病気の原因を突き止める治療に関心を持つ。

同校卒業後、3カ所の整骨院で修行を積み、昨年6月1日に開院した。

松井院長はまずしっかりと患者の話を聞き、その人の自律神経がなぜ乱れるのかを突き止める。自分でも気づいていないトラウマによる原因が浮かび上がってくることもしばしば。

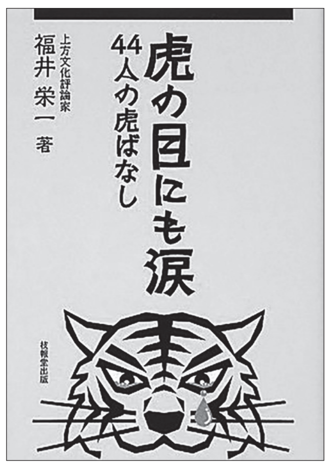
原因が分かってから施術に入り、自律神経を整えながら体をもとの元気な状態に戻す。ここまで親身になってくれる整体院は珍しい。

自律神経専門 たおやか整体院
院長　松井友秀
八尾市山本町3-4-11-105
TEL 090-6207-2044
診察　月～日、9時～19時
不定休　※完全予約制

宇宙空間を旅しながら読むのに適した本を紹介しています。宇宙旅行は夢物語ではなく、現実のものとなっています。いつかあなたも宇宙へ。１冊の本をお供にして。

宇宙旅行に持っていきたい１冊 ⑲

福井栄一著「虎の目にも涙」


上方文化評論家
福井栄一 著
虎の目にも涙
44人の虎ばなし
技報堂出版

技報堂出版
定価 1,760 円（税込み）

この本の著者は世界に唯1人の上方文化評論家の福井栄一氏。元銀行マンであったが、鑑賞した上方舞の至芸に触れ、即日退職届を出し、評論家として独立したという異色の経歴の持ち主。

２００６年から毎年十二支の生き物を題材とした著書を刊行している。今年の干支である寅を題材にしたこちらを紹介したい。44編の虎に関する逸話が紹介されている。どれも2頁に収まっているので、どこからでも気軽に読むことができる。

1万年前に絶滅した虎の話から平安時代や戦国時代、欧州やインドの話、はたまたタイガーマスクの話までよくもこれだけ広い範囲から集めてきたものだと感心する。日本に生息しない虎であるが、タイガースファンの多い関西に一番縁のある生き物かも知れない。

関西人として、ぜひ読んでおきたい1冊だ。

菊池哲也
（株式会社日本衛生公社代表取締役）

推薦図書を募集中！　東大阪新聞メールへ contact@higashiosaka-n.com

広域

紙芝居がビジネスに役立つ

紙芝居師 藤井一さん

「人の心を惹きつけるためには物語が必要」と話す藤井一さん

パワーポイントなどデジタルツールを使ったプレゼンが世の中に溢れている。新型コロナウイルスの影響でオンラインでの会議や講演が主流になり、さらに増えている。似たり寄ったりのプレゼンばかりで印象が薄くなり、しかも多くの人が飽き飽きしている。

そこで紙芝居が新たに注目されている。紙芝居師の藤井一さん（66）＝株式会社えとこえ代表取締役CCO（チーフ・コンテンツ・オフィサー）＝は、松下幸之助（１８９４年～１９８９年）物語や某こども園創立50周年記念紙芝居などを制作し、同社の社員や同園関係者に会議やパーティーで披露し好評を得ている。さらに、終活といった伝えにくい話題やSDGsといった難しい問題まで「絵」と「声」で分かりやすく、しかも面白おかしく説明する。

藤井さんは紙芝居がビジネスに役立つ理由を5つ挙げる。①企画書よりも見てもらえる、②プレゼンよりも聞いてもらえる、③映像よりも融通がきく、④社長の話よりも面白い、⑤押し売りよりもオチで売る。

昨年11月にNHKの全国ニュースで大きく取り上げられ、反響を呼んでいる。

株式会社えとこえ
代表取締役CCO　藤井一
大阪市東淀川区菅原5-2-1
TEL 06-6829-6534

SDGs を社会や次世代へ

関西大学オンライン授業
チャリティーカレンダー市

八尾トーヨー住器株式会社

八尾トーヨー住器株式会社（金子真也社長、八尾市恩智南町2－6）は、会社を挙げて推進しているSDGsを社内に留めておかず、社会や次世代へ広げる試みを始めている。

昨年12月6日には、同社SDGs推進リーダーの今中泰俊さん（47）が関西大学の学生６３４人に対し「中小企業がSDGsに取り組む理由」と題してオンライン授業を行った。

「こんな中小企業があったとは、感動しました。就職活動に対する姿勢が変わりました」など、タメになったというレポートが受講者全員から届いた。

また、1月8日には、同社1階でチャリティーカレンダー市を開いた。収益金は全額NPO法人グローブジャングルとNGO法人ハンガーゼロへ寄付した。

余ったカレンダーを活用するために昨年から始めた試みで、地域で好評を得ており、取材中も次から次へと人が来ていた。

Zoom を使って授業する今中泰俊さん

地域で好評のチャリティーカレンダー市

連載小説

ウクライナを歩く ⑱⑧

小野元裕

プーチンにノーと言おう

バルト海
リトアニア
ベラルーシ
ロシア連邦
ポーランド
ウクライナ
スロバキア
ハンガリー
モルドバ
ルーマニア
黒海
ブルガリア

抗議集会「プーチンにノーと言おう」がミハイル広場で開かれ、数百人が集まっている。スベトラーナが取材に行くというので、同行する。クリミア・タタール民族代議機関「メジュリス」のレファト・チュバロフ代表、シンクタンク「クリミア・タタール・リソース・センター」のイスカンデル・バリイェフ代表の顔が見える。

「市民活動家や反テロ作戦退役兵、それにカザフスタンやアゼルバイジャンの活動家がたくさんいるわ」

スベトラーナが目配せをしながら教えてくれる。

この集会はウクライナやカザフスタンに対するロシアの圧力に抗議するものだ。ウクライナの国境には依然として10万人に上るロシア軍部隊が待機している。倍の数を動員する計画もあるという。ウクライナのNATO加盟阻止、クリミアの不可侵、ウクライナへの兵器配備否定をプーチン露大統領は米国とNATOに対して求めている。

この要求を呑まなければ、痛い目に遭うぞと見せ付けるために、プーチンはカザフスタンへロシア軍を送り込んだ。表向きは燃料費値上がりへの抗議デモを鎮圧するためというが、これはプーチンの書いたシナリオであり、マッチポンプだ。

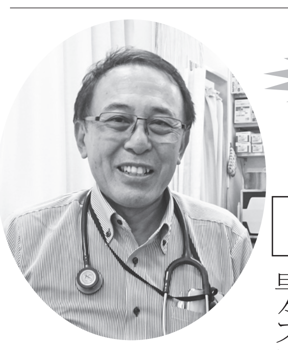
プーチンはロシア軍が主体であるCSTO（ロシア、カザフスタン、ベラルーシ、タジキスタン、キルギス、アルメニアの6カ国からなる軍事同盟）を２５０人カザフスタンへ送り込んだ。ロシアの発表ではデモ隊26人死亡というが、実際は１６４人だった。拘束者は5、８００人に上る。

フランス、ベルギー、オーストリア、チェコではコロナワクチン義務化反対のデモ集会が始まっている。フランスでは10万5千人が参加。

ウクライナはコロナワクチン反対の前にロシアを片付けなければならない。

大声でつぶやく けったいな町医者 3

長尾クリニック院長・医学博士　**長尾和宏**



医者の無知でコロナ騒ぎに

この2年間の騒動、特にマスコミ報道の異様さにかなり多くの人が薄々気付いてきているので、僕に聞いてくるのだろう。

「オミクロンは怖いのか?」「3回目のワクチンは打った方がいいのか?」「コロナはいつ収束するのか?」「IVMは効くのか?」「新薬は効くのか?」

ここに書けない質問ばかり。知りたい人は「まぐまぐ!」のメルマガに書いているので、そちらの方で情報をゲットして欲しい、としか書けない。

それにしても、正月早々スゴイ情報が飛び込んできた。

「滋賀県甲賀市でのワクチン死亡者数」「子どものワクチン後死亡」「異様な超過死亡」「新薬、ラゲブリオの舞台裏」

今やこうした情報を知らないのは大手マスコミ、コメンテーター、政治家、専門家くらいになってきた。だから、大晦日からコロナ関連の番組を観ていると、おかしすぎて仕方がない。

なんでここまでアホな専門家や医者が多いのだろう。

コロナ騒ぎを一言で表現するならば、「医者の無知」に尽きる。医者がしっかりしていたら、犠牲は１００分の1にできたはず。いや、ワクチンの犠牲者や経済困窮者や自殺者を含めるならば、医者がしっかり機能していれば、こんな事態には至らなかった。

日本医師会や医学会がしっかりしていれば…。モッタイナイ話ばかりで、残念で仕方ない。

キーワードは、「現場」である。「現場感覚」ではない。専門家の中には現場感覚を出しているつもりの詐欺師もいるから紛らわしい。

八尾市文化会館
プリズムホール大規模改修工事に伴う休館のお知らせ
ご利用のみなさまにはご不便をおかけしますが、
ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。
【改修工事の期間】令和３年４月１日（木）～令和４年７月末
お問い合わせ等
改修工事に関するお問い合わせ　：八尾市文化国際課　072-924-3909
施設利用などに関するお問い合わせ：プリズムホールお客様窓口　072-924-5111

アクリル加工の職人集団
共栄化学工業 株式会社
TEL 072-922-1681 FAX 072-923-4879
〒581-0812 大阪府八尾市山賀町 4-63　http://kyoeikagaku.com
設備概要
加熱炉：加工最大サイズ 2400×1800ミリ
曲げ厚み限度：ポリカーボネート10ミリ、アクリル３０ミリ
レーザー加工機：加工最大サイズ 2000×1500ミリ
カット厚み限度：アクリル２０ミリ
創業70周年を記念して YouTubeチャンネルを開設しました！
【アクリル伴ちゃんねる】
お祭り好き工場長による、アクリルのタメになる情報を毎週お届け！
水曜17時
YouTube

東大阪新聞 創刊90周年 記念講演会
生と死を見つめて
平穏死からコロナまで
2500 人以上看取り平穏死の尊さを訴え続ける長尾和宏医師は、コロナ禍のなか 1200 人以上のコロナ患者の診療に当たっている。町医者が最初の砦になり感染拡大を防ぐことが何より重要だと力説する長尾医師。
東大阪新聞創刊 90 周年記念に「生と死を見つめて～平穏死からコロナまで」と題して講演いただきます。
令和４年（2022 年）5月7日（土）
14：00～16：00（開場 13：30）
東大阪市文化創造館 大ホール
東大阪市御厨南２－３－４
TEL 06－4307－5772
入場無料 申込不要
講師 長尾クリニック院長・医学博士 長尾和宏
問い合わせ
☎ 072－926－5134
主催 株式会社東大阪新聞社
関連講演会 大阪における新聞の歴史
講師 株式会社新風書房 代表取締役 福山琢磨
令和４年（2022 年）5月7日（土）　主催 文化創造倶楽部　入場無料 申込不要
10：00～11：30（開場 9：30）　東大阪市文化創造館 創造支援室 C1・C2